

1 活動の重点

学習指導要領の理念を実現し、地域の信頼を得る創造的な学校経営を展開するために、校長会研究集会を開催して研修を深める。また、教育課程、生徒指導、同和教育の3委員会を設け、調査研究活動や研修活動に取り組み、校長の資質・指導力の向上を図る。

2 活動の概要

(1) 校長会研究集会

ア 研究主題について

新潟県小学校長会研究集会の研究主題については、全国連合小学校長会の研究主題を受け、当県における教育課題を踏まえて設定してきた。令和7年度の関ブロ新潟大会を見据え、県小学校長会研究集会の研究主題を令和5年度から新たなものにした。

全国連合小学校長会研究主題（令和2年度から）

自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進

新潟県小学校長会研究集会研究主題（令和5年度から）

未来を拓く新たな価値を創造し、豊かな社会をともにつくる子どもを育む学校経営

イ 研究集会の趣旨

これからの社会は、デジタルトランスフォーメーションによる社会構造の変化や多様化などが、これまで以上に進行することが予想される。また、持続可能な社会の実現に向け、世界的な平和や地球環境問題など、世界の動向からも目が離せない。新たな時代への対応が求められている。

このような背景を踏まえ、学校教育においては、「令和の日本型学校教育」を構築する中で、「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」が求められている。そして、子どもたちの個性や興味・関心を最大限に発揮させ、自律性や主体性、創造力、課題解決力などを伸ばす学びへの大きな転換を図ることが必要とされている。

予測困難な社会の変化に主体的に関わり、感性を豊かに働かせながら、自分なりに試行錯誤したり、多様な他者と協働したりして、未来を拓く新たな価値を創造すること。そして、よりよい持続可能な社会と幸福な人生の実現など、豊かな社会を多様な人々とともに作り、歩むこと。これらを実現できる資質・能力を身に付けられるようにすることが重要である。

なお、このような新しい時代に必要となる資質・能力を育成する上では、家庭・地域との連携・協働を深め、連携・分担による学校マネジメントを実現することや、社会に開かれた教育課程の実現と検証を図り、効果的なカリキュラムマネジメントを確立することが重要となる。

これらを踏まえ、大会副主題を「未来を拓く新たな価値を創造し、豊かな社会をともにつくる子どもを育む学校経営」とした。

未来を拓く新たな価値を主体性をもって創造し、豊かな社会を多様な他者と協働して作り歩んでいく子どもの資質・能力を家庭・地域とともに育ていく学校経営の在り方について議論し、明らかにしたい。

このような子どもを育む学校の実現は、校長のビジョンと経営力によるところが大きい。新しい時代の到来を見据え、校長は創造性豊かに学校経営を推進していかなければならない。そのためには、校長が鋭い先見性と豊かな創造性を持ち、学校の実態に即した適切な教育課程の編成・実施・評価・改善を行うことが不可欠であり、学校教育の成果を具体的な子どもの姿で示すことで地域や保護者の信頼を得るようにしなければならない。また、校長は自らの使命を自覚し、リー

ダーシップを発揮して教職員の指導力を高め、活力溢れる学校づくりを進めるなど、組織の総力を挙げて教育課題解決に向けて努力していかなくてはならない。

研究集会では、日常の取組を「校長が主語」のレポートに凝縮して持ち寄り、活発に協議し、創意と活力に満ちた特色ある学校の創造に向け学び合い、磨き合うことが重要である。これは、新潟県小学校長会が大切に受け継いできた伝統であり、今後も大切にすべき営みである。

ウ 基本方針

- (ア) 主題に基づく各自の実践を「校長が主語」のレポート（A4サイズ1枚）にし、持ち寄り討議し合う。その際、校長として「学校経営」の視点を明確にした内容にする。
- (イ) 分科会は、令和7年度関プロ新潟大会を見据え、前年度大会である長野大会（令和6年度）の構成を基本とし、12分科会で構成する。
- (ウ) 分科会は、必要に応じて分散会を設け、少人数での協議ができるようにする。
- (エ) 分科会・分散会では、提案発表を受けて、話合いの柱を決定し、情報交換や協議を進めるなど、運営を工夫する。

エ 分科会

領域	分科会	研究課題	研究の視点
Ⅰ 学校 経営	1 学校経営・評価	創造的な学校経営ビジョンの策定とその推進及び評価の工夫	(1) これからの社会を担う子どもを育む創造的な学校経営ビジョンの策定とその推進 (2) 次代を担う子どもたちを育成するための実効性ある学校評価の工夫
	2 組織・運営	学校経営ビジョンの実現や働き方改革の推進に向けた学校組織マネジメント	(1) 学校経営ビジョンの実現を図る効果的な組織マネジメントの工夫 (2) 教育の質的向上を具現化する働き方改革の推進と業務の改善の工夫
Ⅱ 教育 課程	3 知性・創造性	豊かな発想力や創造性を育む教育課程の編成・実施・評価・改善	(1) 自ら未来を拓いていくための資質・能力を育む教育課程の工夫 (2) 豊かな発想力や創造性を育む教育課程の工夫
	4 豊かな人間性	心豊かに生きる子どもを育む教育課程の編成・実施・評価・改善	(1) とともに生きる社会をつくる人権教育の推進 (2) 豊かな心を育む道徳教育の推進
Ⅲ 指導 育成	5 研究・研修	学び続ける教師の姿を実現する研究・研修の推進	(1) 教職員の資質・能力の向上を目指した校内研究・研修の充実 (2) 「チーム学校」の運営意識を高める研究・研修体制の工夫
	6 人材育成	これからの学校運営を担う若手人材やミドルリーダー・管理職の育成	(1) 組織の一員として人間性や指導力を高めることのできる若手人材の育成 (2) これからの学校運営を担うミドルリーダー・管理職の育成
Ⅳ 危機 管理	7 学校安全	危険予測・回避能力を高め、自ら判断・行動できる子どもを育てる安全・防災教育の推進	(1) 自ら判断・行動できる子どもの育成及び地域・関係機関との連携・協働を図る安全・防災教育の工夫
	8 健全育成	家庭・地域・関係機関と連携したいじめ防止対策等、健全育成の推進	(1) 組織的にいじめや不登校等に対応できる校内体制の整備 (2) 健全育成のための学校・家庭・地域・関係機関の連携

V 教育 課題	9	自立と共生	自立と共生社会の実現に向け、一人一人の教育的ニーズに対応した教育活動の充実	(1) 自立と共生社会の実現に向け、一人一人の教育的ニーズに応える教育環境の整備及び特別支援教育の推進
	10	情報・環境	社会の変化に対応し、豊かに生きる子どもを育む情報教育・環境教育の充実	(1) 情報社会をよりよく生きる子どもを育む情報教育の推進 (2) 地域・関係機関と連携し、豊かな感受性と創造性を養い持続可能な社会の創り手を育む環境教育の推進
	11	国際理解教育	グローバル社会の中で様々な人とつながり、ともに生きる子どもを育む教育の推進	(1) 多様な文化を認め合い、主体的にコミュニケーションを楽しむ子どもを育む国際理解教育の推進
	12	連携・接続	開かれた学校づくりのため、家庭・地域等との連携・協働や、育ちの連続性を踏まえた異校種間の円滑な接続	(1) コミュニティ・スクールやカリキュラムマネジメントを生かした家庭・地域等との連携・協働の推進

オ 期日・会場

- (ア) 上越地区 9月15日(金) ユートピアくびき希望館
(イ) 中越地区 9月29日(金) 加茂市文化会館・加茂市産業センター
(ウ) 下越地区 9月22日(金) 両津小学校・佐渡市両津地区公民館

〔参考〕研究集会の開催地域について 平成24年9月1日県小本部会決定			
	〔上越〕	〔中越〕	〔下越〕
平成29年度	上越	十日町・中魚	村上・岩船
30年度		{全県} 長岡・三島	
令和元年度	柏崎・刈羽	三条	佐渡
2年度	糸魚川	南魚沼郡市	五泉・東蒲・阿賀野
3年度		{全県} 上越	
4年度	妙高	燕・西蒲	新発田・北蒲・胎内
5年度	上越	加茂・南蒲・見附	佐渡
6年度		{全県プレ} 新潟	
7年度		{全県関プロ} 新潟	

※ 政令指定都市研究協議会新潟大会（令和4年度）

カ 日程（目安）

受付 13:30～	開会式 14:00～14:15 ・校長会長あいさつ ・開催郡市校長会長あいさつ	移動	分科会・分散会 14:30～16:00
--------------	--	----	------------------------

(2) 第75回全国連合小学校長会研究協議会東京大会・第75回関東甲信越地区校長研究協議会東京大会への参加

期 日 令和5年10月19日(木)～20日(金)

会 場 東京都内

全体会：東京国際フォーラム 分科会：TKP新橋カンファレンスセンターほか

参加者 新潟県から44名

(3) 委員会活動

教育課程委員会、生徒指導委員会、同和教育委員会の3委員会による調査研究活動の実施と関係諸会合への参加・研修活動を行う。

ア 教育課程委員会

教育課程の実施状況や教育課程に関わる諸問題について調査研究を行う。全国連合小学校長会の調査と比較したり、現状と課題を分析したりして、各校の教育課程の改善・充実のための資料とする。

イ 生徒指導委員会

教員の生徒指導力向上と児童のネットトラブルに対する効果的な取組について調査を実施する。調査結果を分析・検討し、各校における取組の改善・充実のための資料とする。

ウ 同和教育委員会

新潟県同和教育研究協議会の各種委員の選出及び諸会議への出席、各種研究集会への参加態勢の確立などを通して、同和教育推進の活動を行う。研究集会や研修会等に参加し、校長自ら同和教育についての認識や指導方法を深める。

(4) 研修部会の開催

ア 第1回 期 日 令和5年5月10日(水)

会 場 燕三条地場産業振興センター

内 容 令和5年度研修部活動計画の概要決定

イ 第2回 期 日 令和5年11月10日(金) 14:00～16:00(仮)

会 場 万代シティホテルビル

内 容 研修部の活動のまとめ

参加者 研修部担当理事、3委員会の正副委員長

ウ 臨 時 期 日 令和5年6月～11月 随時

会 場 万代シティホテルビル

内 容 令和7年度関ブロ新潟大会に向けた協議趣旨、提言の視点等の検討